

丹沢（塩地窪沢北尾根－小山沢右岸尾根）

山行日 5月8日（土）天気：晴れ

参加者 3名

記：SF

コース：西丹沢ビジネスセンター8：00→用木沢出合8：35→北尾根入口8：50→
塩地窪沢ノ頭10：15→稜線分岐10：25→（昼食タイム60）
尾根取付点12：10→西丹沢ビジネスセンター12：30

今回のルートは塩地窪沢北尾根（ショクボサワ）と小山沢右岸尾根を通るルートでどちらもバリルートです、西丹沢ビジネスセンターを出発用木沢出合に向かう、最後のオートキャンプ場を過ぎると、通行禁止のポールとロープがある、これはこの先にある橋の一部が台風19号の影響で崩落している為で、崩落箇所には、鉄板の橋が設けてあり、歩行は問題なくできる、用木沢出合より白石峠方面に向かって進む、約500m位の場所に橋があり手前の広場から河原に出ると、堤があり対岸が北尾根入口です、2本の川の合流地点なので、川幅が広い為に、先ほどの橋を渡り、合流する川の渡渉にした、対岸に着き登り口を探すと、紫のリボンがありそこから、人口林の急登を登り始める、最初は直登ぎみにのぼり約20分位登ると、自然林になり、傾斜の緩やかになり、尾根道が現れる、その後登って行くと、鹿柵が現れる、通過できる所が無いので、鹿柵沿いの細い道、反対側は崖の場所を進と、柵の下の部分が捲れて入り場所があり、鹿柵を潜り内側に入った、そこからは、紫のリボンがあり、踏む後も出てきた、取付点からここまでの間の踏み後はあまりない、人口林の中を登って行くと、尾根が右に折れる場所で、鹿柵が壊れていて、途中の破損箇所が無い場合は、ここまで鹿柵沿いを上がってくる、この場所が平らで広い場所なので、休憩を取った、その後柵沿い歩くと、柵の潜り戸の場所があったが、手前で柵が破損している為に、破損箇所を通過、その後は塩地窪沢ノ頭までの間は、人口林の尾根道を一部直登箇所がありますが、登って行くと、広い場所に到着この場所が塩地窪沢ノ頭と思われる、標識等は何もない。そこから小山沢右岸尾根の分岐点までは、広い平坦場所で約5-6分、で到着した、天気も良く時間も早いので、この場所で昼食タイムおよび休憩時間を約1時間取った、その小山沢右岸尾根を、水源の森 神奈川県標識杭を探しながら下山した、途中間伐の場所では、踏み後が無くなり、コース選択に注意が必要、その後尾根は急になり、立木に捕まりながら下った、その後下に川が見え、さらに斜面は急になる川の合流地点が下山場所で、一般登山道に合流する、西丹沢ビジネスセンターに向かうこのルートでは、数名の登山者にあった、ビジネスセンター到着時間が早いので、登山者はあまりいなかった、前の道を、キャンプ場に向かい車が多く通過していった、今回のルートは、あまり人が入らないので、踏み後及びリボン等の印が少ないので、しっかりと読図及びGPSが必要になります。



渡渉場所 対岸が登山口



この場所から登った



尾根に上がったが踏み後は少ない



鹿柵を潜った場所



鹿柵用の扉 柵が壊れている



小山沢右岸尾根の下り
このあたりは、下り安い



水源の森の 標識



最後の急な下り 右側が一般登山道